

## ハンドブック ワンポイント レッスン

# 知っておきたい規則とルール

### Question

中学校で部活動を指導しています。

大会の事情で準々決勝まで5ゲームマッチの大会となりました。準々決勝の1つのマッチでの出来事です。ゲームカウント2-2で5ゲーム目をすすめ、Aペアが4-1でそのゲームを取り、サイドのチェンジをして6ゲーム目のAペアが2-1とリードしたところで5ゲームマッチであることに気付いた。(この間、プレーヤーも審判(敗者の中学生)も7ゲームマッチと思いついていました。) このように途中で気付いた場合には5ゲーム目をファイナルゲームとして4-1から再開できるのでしょうか。また、7ゲームまで終了させてしまったがBペアが6ゲーム目、7ゲーム目を取った場合は4-3でBペアの勝利となるのでしょうか。

### Answer

提訴は次のポイントに入った場合、行うことができない。ただし、ポイントカウントの誤りについてはそのゲーム内に、ゲームカウント誤りについてはそのマッチ内に限り提訴することができる。なお、マッチ終了の挨拶をした後においては提訴を行うことはできない。

いつも中学生のご指導をいただきありがとうございます。ときどきこのような問題が起き、現場では事の処理に困惑されておられるようですが、今大会のレフェリーはどの様に説明をされ決着を付けられたのでしょうか。その時あなた様は、説明に疑問を持たれて質問されたのでしょうか。

今回は質問が2つあります。最初のご質問は5ゲームマッチで終了するはずのものを6ゲーム目の途中まで進んでこのマッチは5ゲームマッチである事に気が付かれ、すでに終わった5ゲーム目の4-1をファイナルゲームとして4-1から引き続いて行う事が出来るかという質問ですね。

このことについては、競技規則第43条(提訴)[解説19]により判断することになります。「解説19」を見ますと「提訴は次のポイントに入った場合、行うことができない。ただし、ポイントカウントの誤りについてはそのゲーム内に、ゲームカウントの誤りについてはそのマッチ内に限り提訴することができる。次のポイントとは、サービスをするプレーヤーが、サービスをしようとして、手からボールを放した瞬間までをいう。」となって

います。従って、6ゲーム目の途中で気付いたということは、ゲームカウントの誤り(3-2でAペアの勝利)についてはマッチ中であれば訂正することが出来ます。

しかし、ポイントカウントについては5ゲーム目内ではなく既に6ゲーム目に入っていますので提訴はできず、5ゲーム目のポイントカウントは4-1で終了しています。結論は、ゲームカウントは3-2でAペアの勝利となります。

2つ目の問題ですが、7ゲーム目まで進んで終了した場合について、ここで問題になるのがマッチ終了の挨拶をする前か、挨拶終了後かによって判断が異なる事になりますので気をつけましょう。つまり、マッチ終了の挨拶がまだ済んでいない時に気付いた場合は上述の取扱いによって、3-2でAペアの勝利となります。しかし、マッチ終了の挨拶をした後では、競技規則第43条(提訴)第3項「マッチ終了の挨拶をした後においては、プレーヤー(団体戦の場合は監督・コーチを含む)は提訴を行うことはできない。」の条文から6ゲーム・7ゲームが成立し、3-4でBペアの勝利となります。この事は、たとえ間違いであっても正しいとして進められた場合は、

ゲーム中にスコアの誤りに気付いた場合を除いて、有効として処理されると解釈します。この様な事例は、2010年7月号にも掲載していますが、今後の再発を防ぐために、大会の事情（マッチのゲーム数）等は事前に大会要項や競技上の注意等で伝達していると思いますが、コート主任を配置する等の配慮がなされ、準々決勝に入る前に再度プレーヤーとアンパイヤーとなる生徒さんに徹底する事ですね。なお、採点票に5ゲームマッチと記載するとともに6～8ゲームの欄を抹消する等の工夫によって事前に混乱を防ぐ方法の対応をおすすめします。

最後にお願ひですが、今回の様な事で間違った判定をされますと後味が悪く気まずい思いをされる事になりますし、非常に残念な思いをする人が出ますので、指導される先生方には是非とも競技規則や審判の要領を詳しく知って頂きたいと思ひます。

#### 【関連規則】

競技規則第40条（異議の申立て等の禁止）、[解説17]、第43条（提訴）、[解説19]

【ジュニア審判マニュアル】

競技規則について

15. アンパイヤーの判定に異議がある場合はどうしたらよいか？（質問）

6ゲーム目に入っているので、5ゲーム目のポイントは有効で勝敗は確定していますので再開はありません。



5ゲームマッチだったら2-2のファイナルゲームですが、終わってしまったポイントカウントから再開ですか？